

令和5年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人新生会高の原中央病院

医療圏：奈良

2. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

奈良市北西部及び京都府南部地域において、高度急性期から比較的重症度の高い急性期の医療を中心に担うために、一般急性期病床を中心とした「断らない病院」としての機能強化を今後も図っていきます。その役割を果たす支えとして、高度急性期医療を担うハイケアユニット病床、急性期病棟との連携がメリットを発揮する比較的密度の高い医療を必要とする患者を中心とした回復期リハビリテーション病床、関連機能として人間ドックセンター、訪問看護ステーションを今後も運営していきます。また近年増加傾向にある救急についても受け入れ態勢を強化する一環としてCT・MRI等を集約した新棟を建設中であり、令和6年3月頃の運用開始を予定しており、今後も地域医療構想を鑑み体制強化してまいります。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときり明らかになるようご説明ください。

奈良市北西部において「断らない病院」として急性期医療（高度及び重症急性期）をコアとして提供する役割を担っていく一方で、地域包括ケアや慢性期病床について近隣医療機関との連携のもとで院内外のニーズに対応しており、現在のところ新設する予定はありません。また急性期機能のバックアップを必要としない軽度の回復期リハビリテーション対象ケースについては、他院へのご紹介を近年進めております。当院ではこの数年、診療機能の選択と集中の検討を続けており、既に眼科、形成外科等については縮小し、近隣医療機関に紹介しております。検討して参りました大型の放射線治療装置の導入についても、地域の病院間の役割分担の観点からも当面見合わせることを考えております。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるときり明らかになるようにご説明ください。

病院間での病棟機能や診療科の組み替えの可能性も含めた近隣病院との機能分担について、地域住民並びに相互の病院にメリットが見出すことができるようでしたら、積極的に話し合いに参加したいと考えております。また奈良市北部の軽症急性期や地域包括ケア病床の利用については、相互補完の観点から、是非とも日頃からの情報交換を伴った密度の高い連携を行っていきたいと考えております。

3. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※「(2) 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について」を踏まえた具体的な計画について記載してください
 ※「(3)」では選択肢によって条件設定を行い、回答内容によりそれ以降の問いに対し、システム上回答不要としている部分があります。この条件設定に不都合がある場合（回答することが適しているが選択できない場合など）は「4. その他」へ回答を打ち込んでください。

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R5年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び別紙様式「急性期機能の細分化の報告」の数値を記入してください。
 ※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 ※最大使用病床数は1年間（R4.4.1～R5.3.31）に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

		H28年度	R5年度		(床)		
		(a) 許可 病床数	許可 病床数	最大使用 病床数	(b) 将来 R7年度	(b-a) H28年度 からの 増減	
一般 病床 ・ 療養 病床	高度急性期	8	8	6	8		
	急性期	重症	191	191	184	191	
		軽症					
	回復期	50	50	50	50		
	慢性期						
	休棟中（今後再開する予定）						
	休棟中（今後廃止する予定）						
合計		249	249	240	249		
精神病床							
結核病床							
感染症病床							
介護医療院							

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下[1]～[16]の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

はい

[1-2]手術の実施

消化器 泌尿器、(男性)生殖器 (女性)生殖器 骨軟部

[1-3]化学療法の実施

対応している

[1-4]放射線治療の実施

対応していない

[1-5]拠点病院等の指定

[1-6]今後の方向性

専門性を持って当たれる診療科領域について対応しております。現時点では大きな変更は考えておりません。

大型の放射線治療機器については当面導入を見合わせ、医療機関との連携を行ってまいります。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

はい

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

対応している

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

対応している

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

対応している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

対応している

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

対応している

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

対応している

[2-8]大動脈瘤手術の実施

対応している

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

対応している

[2-10]今後の方向性

心臓血管外科、循環器内科専門医による当直体制を敷いて24時間365日の対応を行っています。今後も機能充実に努めていきます。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

はい

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

対応している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

対応していない

[3-4]脳出血(くも膜下出血を含む)への対応

対応していない

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

対応していない

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

対応していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

対応していない

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

対応している

[3-9]奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

参加している

[3-10]今後の方向性

脳神経外科領域の手術対応は現在行っておりません。脳神経内科や回復期リハビリテーション機能がありますので、現在は他院からの術後受け入れを積極的に行っています。現在のところ、この方向性で今後に対応していく予定です。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

はい

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

はい

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]今後の方向性

地域の救急医療に対するニーズ増加に対応するため、当直医師を2名から3名へと体制強化を図りました。また、救急救命士の採用や看護配置の充実も積極的に行っております。救急対応力強化の取組みにより救急応需率も向上してきています。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

はい

[5-2]心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応している

[5-3]脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応している

[5-4]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

有り（病床数を入力してください）（50）

[5-5]訪問リハビリの実施

対応している

[5-6]通所リハビリの実施

対応していない

[5-7]今後の方向性

急性期の患者さんが円滑に在宅へと帰るために、回復期リハビリテーション病棟への転棟を行っています。また、急性期病床のバックアップがあることから、周りの医療機関（回復期リハビリテーション病院）からも、比較的リスクの高い回復期リハビリの患者さんを受けています。一方で低リスクの患者さんについては、他病院の回復期リハビリテーションへのご紹介も行っております。各療法士の積極的な採用を行い、365日リハビリを実施しております。

訪問リハビリについては、法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」にて対応しております。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

はい

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

無し

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]訪問リハビリの実施（再掲）

対応している

[6-5]今後の方向性

法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」において、地域の在宅医療を行っているクリニック等と連携しています。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

はい

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい（施設名称をご記入ください）（訪問看護ステーション あさがお）

[7-3]今後の方向性

訪問看護については、法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」にて対応しております。あさがおのスタッフについては、院内職員から配置しております。

[8] ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めていない

[8-1]今後の方向性
現在、検討中です。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？
いいえ

[9-2]小児入院医療管理料の算定

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

[9-4]小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

[9-5]今後の方向性

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[10-2]分娩の取扱い

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

[10-4]今後の方向性

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加
参加している

[11-5]今後の方向性

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

[12-3]今後の方向性

[13]新興感染症等の感染拡大時における医療

[13-1]診療・検査医療機関の認定を受けているか？

はい

[13-2]新型コロナウイルス感染症の陽性患者入院受入を行っているか？

ただし自院に他疾患等で入院していた院していた患者は除く。

はい

[13-3]「感染症患者の受入を想定した研修や訓練」を、年1回以上自院で実施しているか？

はい

[13-4]下記訓練に年1回以上参加しているか？

行政機関（保健所等）や他医療機関等が主催する「感染症患者の受入を想定した研修や訓練

はい

[13-5]下記訓練を、自院で年1回以上実施しているか？

新興感染症の発生に備えた病床確保に当たってのシフトや応援に係る訓練・点検、院外から移送された患者の受入の流れを考慮した訓練

はい

[13-6]今後の方向性

不測の事態に備え積極的に情報収集を行うとともに、研修会等にも参加したいと考えている。

[14]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[14-1]当該領域について対応しているか？

はい

[14-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

いいえ

[14-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい

[14-4]臨床研修協力施設であるか？

はい

[14-5]専門研修の基幹施設であるか？

はい

[14-6]専門研修の連携施設であるか？

はい

[14-7]今後の方向性

現在は基幹型臨床研修病院（奈良医大、奈良県立総合医療センター）の協力病院として、医師の研修に協力しております。

また、令和5年度からは大阪医科大学の協力病院としても、医師の研修に協力しております。

今後は医師の働き方改革も考慮しながら、研修機能についても検討していきます。

専門研修に関しては、複数の領域において基幹あるいは連携施設となっております。

[15]医師の働き方改革

[15-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[15-2]今後の方向性

大学・他医療機関からの派遣医師の引き上げの予定はないことから、今後も診療体制の縮小等は特に生じない見込んでおります。

[16]看護職員の研修機能

[16-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[16-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[16-3]今後の方向性

既に奈良県立医科大学附属病院と大阪府看護協会の協力施設となっており、今後も引き続き連携を図っていく。

4. その他

--